

TRANSLATION OF SPECIFICATION OF

JAPANESE UTILITY MODEL APPLICATION NO. H6-33911

(ENGLISH LANGUAGE TRANSLATION OF UNDERLINED PORTION ONLY)

(57)[Summary]

[Structure] A breast pad comprised of a breast milk absorption body having either a disk or bowl shape, wherein one side of the breast milk absorption body is covered by an inner surface sheet material. The inner surface sheet material has an outer rim which is folded back towards the other side of the breast milk absorption body, and to which an outer surface sheet material covering the other side of the breast milk absorption body is affixed.

[Effect] Since the outer rim (3) of the inner sheet material (2) is folded back towards the other side of the breast milk absorption body (1), a protruding outer rim (3) is eliminated, and the fixed portion of the rims does not touch the skin, thereby making the breast pad comfortable to wear.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-33911

(43)公開日 平成6年(1994)5月6日

(51)IntCl.⁵

A41C 3/04

識別記号

B

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平4-67656

(22)出願日 平成4年(1992)9月29日

(71)出願人 000252322

和光堂株式会社

東京都千代田区鍛冶町2丁目7番15号

(72)考案者 小川 清久

東京都新宿区西新宿5丁目24番18号 和光
堂株式会社開発部内

(72)考案者 長島 豊明

東京都新宿区西新宿5丁目24番18号 和光
堂株式会社開発部内

(72)考案者 小栗 千枝

東京都新宿区西新宿5丁目24番18号 和光
堂株式会社開発部内

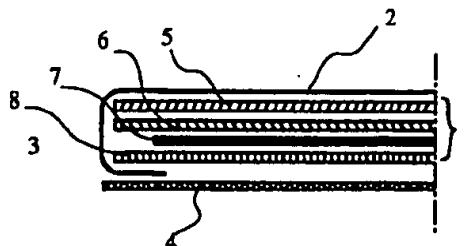
(74)代理人 弁理士 津国 肇 (外1名)

(54)【考案の名称】 母乳パット

(57)【要約】

【構成】 円板状又は碗状に成形された母乳吸収体の一方の面が、内面シート材で覆われ、該内面シート材の周縁部が、母乳吸収体の他方の面側に折り返され、折り返された周縁部に、母乳吸収体の他方の面を覆う外面シート材の周縁が固着された母乳パット。

【効果】 内面シート材(2)の周縁部(3)が、母乳吸収体(1)の他方の面側に折り返され、突出した周縁部(3)を有しないので、固着部分が肌に触れず、装着感が良好である。



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、授乳婦が用いる母乳パットに関する。

【0002】

【従来技術】

母乳パットとしては、椀状に成形された母乳吸収体を表面材で被覆したものが一般的に知られている。従来の母乳パットは、例えば、図3に示すように、複数の部材を積層した母乳吸収体(1)を、内面シート材(2)と外面シート材(4)で被覆し、その突出した周縁部(10)を固着している。

【0003】

しかしながら、このような母乳パットは、固着部が周縁に突出しており、かつ固着により硬くなった周縁部(10)が肌に触れるため、装着感が悪いという欠点があった。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

本考案の目的は、固着部分が直接肌に触れないため、装着感が良好な母乳パットを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本考案は、円板状又は椀状に成形された母乳吸収体の一方の面が、内面シート材で覆われ、該内面シート材の周縁部が、母乳吸収体の他方の面側に折り返され、折り返された周縁部に、母乳吸収体の他方の面を覆う外面シート材の周縁が固着された母乳パットである。

【0006】

【実施例】

以下に、実施例を示し、本考案をさらに具体的に説明する。

本考案に用いる母乳吸収体(1)としては、公知の母乳吸収体でよく、例えば、図1に示すように、ES繊維(ポリプロピレン、ポリエチレン)等からなる裏

基毛（５）、高重合度ポリアクリル酸ナトリウム系の高分子吸収体からなるポリマーサンド（６）、ポリプロピレン等からなる親水性メルトブローン（７）、粉碎ポリマーサンド（８）を積層し、円板状又は楕状に圧縮成形したものを挙げることができる。

【０００７】

本考案の母乳パットは、図１に示すように、母乳吸収体（１）の一方の面が、内面シート材（２）で覆われ、該内面シート材の周縁部（３）が、母乳吸収体（１）の他方の面側に折り返されている。

【０００８】

本考案に用いる内面シート材（２）としては、公知のものでよいが、好ましくは、母乳吸収体（１）に吸収された母乳の戻りを防止することができるメッシュ地である。中でも、穴の径が０．４～０．６mmのポリエチレン製メッシュが好ましい。

【０００９】

内面シート材（２）の折り返し長さは、母乳パットの大きさにより一概に決定できないが、５～２０mmが好ましい。

【００１０】

本考案の母乳パットは、母乳吸収体（１）の他方の面が、母乳吸収体（１）とほぼ同形状の外表面シート材（４）で覆われ、外表面シート材（４）の周縁が、内面シート材（２）を折り返した周縁部（３）は、母乳吸収体（１）の縁部に固着されている。

【００１１】

本考案に用いる外表面シート材（４）としては、公知の表面材を用いることができ、中でも、ポリプロピレン製のメルトブローンが好ましい。

【００１２】

外表面シート材（４）の周縁を上記周縁部（３）に固着する方法としては、接着、熱融着等の公知の方法を採用することができる。

本発明の母乳パットには、図２に示すように、装着したときに母乳パットがずれるのを防止するために、例えば両面テープ等のずれ防止部材（９）を、内面シ

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 円板状又は碗状に成形された母乳吸収体の一方の面が、内面シート材で覆われ、該内面シート材の周縁部が、母乳吸収体の他方の面側に折り返され、折り返された周縁部に、母乳吸収体の他方の面を覆う外面シート材の周縁が固着された母乳パット。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の母乳パットを例示する部分断面図である。

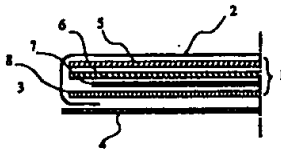
【図2】 本発明の母乳パットを例示する平面図である。

【図3】 従来の母乳パットを例示する部分断面図である。

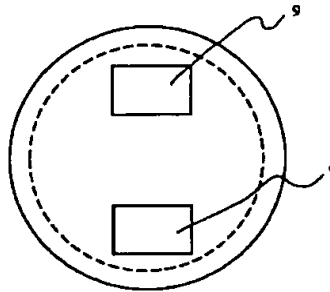
【符号の説明】

- 1・・・母乳吸収体
- 2・・・内面シート材
- 3・・・内面シート材の周縁部
- 4・・・外面シート材

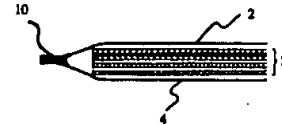
【図1】



【図2】



【図3】



ート材（２）上に設けることができる。

【００１３】

【考案の効果】

本考案の母乳バットは、内面シート材（２）の周縁部（３）が、母乳吸収体（１）の他方の面側に折り返され、突出した周縁部（３）を有しないので、固着部分が肌に触れず、装着感が良好である。